



多店舗展開を強力支援！
300店超の多店舗展開を支えるためには、
省スペースで圧倒的低コストのMFCが最適でした。

！ MFC導入の背景

それまでの
家庭用感熱紙ファクスに、
店舗の現場から不満が続出。

シダックス・コミュニティー様は、全国300店超のカラオケチェーンを運営するアミューズメント企業。3年前までは、家庭用の感熱紙ファクスが全店舗に設置されていました。当時、本部・店舗間のコミュニケーションはファクスが中心で、一日数十枚の送受信が行われていました。しかし店舗の現場から、「大量のファクスを送受信するのにメモリが不足している」、「紙詰まりが多い」、「普通紙が使えなくて不便だ」、「コピーもしたい」等々、不具合を指摘する声が続出。そこで各種機器を比較検討した結果、2002年から3年をかけ、全店舗へブラザーのレーザー複合機・MFCシリーズを導入することを決定しました。

！ MFCを選択した理由

これだけの
機能・スペックを、
驚くべき低コストで実現。

レーザー複合機は、一般には高額であると思われています。しかしMFCは驚くべき低価格。シダックス・コミュニティー様によると、同じ機能・スペックの他社製品と比較して、MFCには約30～50%のコストメリットがありました。家庭用の感熱紙ファクスと比較してもさほど高額ではなく、しかもレーザープリンタとコピー機能が付いていることで新たなOA機器が必要ない。高機能・低価格・省スペースのMFCは、積極的な多店舗展開を進めるシダックス・コミュニティー様にとって、まさに最適な製品だったのです。事実、新規出店の際にはMFCが新規備品として設置され、フル稼働しています。

！ MFC導入の成果

地区責任者や
店舗スタッフの
業務効率が格段に向上。

MFCの導入により、まず本部・店舗間の極めて快適なファクス送受信が実現。メモリ不足や紙詰まりが解消され、普通紙への高速出力が可能になりました。さらに複数の店舗を統括する地区責任者は、MFCをレーザープリンタとして活用。臨店の際、ノートパソコンをMFCに接続し、必要な経営資料を出力して、機動的な店舗指導を行っています。また店舗スタッフは、各種の店舗運営資料のコピー機として使用しています。コンパクトサイズのMFCは、省スペースが求められる店舗のバックヤードでもその高機能をいかんなく発揮し、シダックス・コミュニティー様の300店舗の運営を強力に支援しているのです。

「うちの店もブラザーに替えてくれ」という声が殺到したんです。

シダックス・コミュニティー株式会社 | 営業企画部開店推進担当 | 新 勇一郎 様



ブラザーのMFCへの機種変更は、3年かけて順次行いました。先に導入したお店での評判が広がり「ウチはまだですか?」という問い合わせが殺到したんです。嬉しい悲鳴でした。何故ブラザーだったのか。それはやはり価格・機能・保守サービスの総合評価で、他を圧倒していました。今後は製品の耐久年数やモデルチェンジの情報を元に、さらに的確なアドバイスを期待しています。

ご導入いただいた代表的機種 **MFC-8210J**

省スペースなADF(原稿自動送り装置)タイプ。
Super G3+18PPMプリンティング・高速処理の複合機です。

- レーザーファクス、レーザープリンタ、コピー ●速度：プリンタ/18PPM、コピー/18PPM
- 解像度：プリンタ/2400×600dpi ●基本仕様：パラレル/Hi-Speed USB2.0、メモリ/32MB(増設可)
- 枚数：ADF/最大30枚、記録紙セット/標準最大250枚&オプション250枚、送信時ページメモリ/最大500ページ、メモリ代行受信/最大500ページ

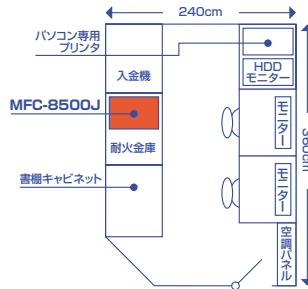


ブラザーのレーザー複合機、 店舗の現場でフル稼働中です！

□MFCの設置場所

**店舗のバックヤードは、省スペースが絶対条件。
小型サイズのMFCが、快適なバックヤードを実現しています。**

店舗のバックヤード(支配人室)の標準的な広さは、2.4m×3.6m。渋谷シダックスビレッジクラブ店では、このスペースに右図のような什器・機器が設置されています。本部の基幹システムとネットワークされた2台のパソコンには、専用のプリンタが接続されており、本部から店舗へ送られた売上集計表などの各種経営データを出力。それ以外は、耐火金庫の上にコンパクトに設置されたMFCが、すべての出力機能を担っています。こうして見ると、1台でファクス・プリンタ・コピーの機能を実現するMFCが、バックヤードの省スペース化と快適化にいかにも貢献しているかがお分かりいただけることでしょう。



□MFCの主な用途

**超小型・低コストのレーザー複合機・MFCは、
店舗のユーザーにこれだけの機能を提供しています。**



耐火金庫の上に設置されたMFC

用途①／本部・店舗間のファクス送受信

MFCの主な用途はファクス送受信。店舗から本部への売上集計表・出勤管理表の送信、本部・店舗間の各種連絡事項など、毎日数十枚の通信が行われています。

用途②／地区責任者によるプリンタ出力

7～8店舗を統括する地区責任者は、様々な運営情報が入ったノートパソコンを常備。来店時にはそれをMFCに接続して、資料を簡単に出力します。店舗が地区責任者のオフィスとしても機能しています。

用途③／店舗スタッフによる資料コピー

カラオケルームの予約状況、勤務シフト表など、店舗運営に必要な資料を随時コピーしています。

□MFCユーザーの声

**「以前使っていた家庭用のファクスに比べると、
用紙ぎれがなく、補充も簡単で、とても使いやすいです」**

渋谷シダックスビレッジクラブ店 | 早番主任 | 玄内陽子さん

「この機械は、2004年7月にこのお店がオープンした時から使っています。以前の新店では家庭用のファクスだったので、用紙が途中でなくなったり、時間が経つと印字が汚くなったりしました。それと比べると、普通紙が使え、用紙の補充が簡単で、とても使いやすいですね。まれにトラブルになった時も、フリーダイヤルに電話すれば丁寧に教えてもらえますし、修理サービスは1年間のメーカー保証ですから、とっても安心です。このお店は規模が大きく、たくさんのお客様がいらっしゃいますが、ブラザーの機械があれば出力が必要な事務は完璧にこなせますね。」



「このお店は130室。渋谷最大のカラオケ店です」(玄内さん)

カラオケをベースにした
アミューズメント事業を展開。
お客様満足を徹底的に
追求し、急成長しています。



シダックス・コミュニティー株式会社様は、1993年の設立以降、大型エンターテインメント・レストラン・通信カラオケハウスを、ロードサイド型及び都市型で全国展開されています。科学的なマーケティング分析に基づき、太平洋ベルト地帯を中心に人口13万人に1店の割合で出店。2005年3月現在で305店舗、将来的には400店舗を目標に出店戦略を加速させています。同社が急成長した理由。それは最道最新のカラオケシステムで唄う満足を提供したこと。そして人々に愛される文化的施設づくりと充実した料理で、お客様の満足を徹底して追求したことです。現在では同社の店舗はカラオケだけでなく、地域のアミューズメント&カルチャー・ステーションとして積極的な地域貢献活動を展開しています。

設立	1993年8月
代表者	代表取締役社長 志太勤一
本社	東京都渋谷区神南1-12-13 渋谷シダックスビレッジ
総店舗数	305店(2005年3月31日現在)
総ルーム数	14,437室(2005年3月31日現在)
電話	03-5784-8881(代表)
URL	http://www.shidax.co.jp/sc/

このカタログの掲載商品、並びに内容についての詳しいことは、お近くの販売店でご相談ください。もし、販売店でお分かりにならないときは、下記ブラザーコールセンターまたはブラザー販売(株)の営業部におたずねください。

受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

情報機器事業部 北海道/011-222-7788 東北/022-227-8885 東京/03-3274-6911 中部/052-824-3196 関西/06-6543-9120 中四国/082-240-3781 九州/092-481-1560

brother

ブラザー販売株式会社
http://www.brother.co.jp/

〒467-8561 名古屋市長瀬区苗代町15-1

レーザーモデル
ブラザーコールセンター
☎フリーダイヤル:0120-143-410
おかけ間違いのないようご注意ください。
受付時間●9:00～20:00(月～金) ●9:00～17:00(土)
*日・祝日及び当社休日を除く
E-mail:mfc.joho@hanbai.brother.co.jp

PRINTED WITH SOY INK 地球環境保護のために、このカタログには大豆油インキを使用しています。

■お買い求め、ご相談は、

[MFC導入事例カタログコード:26-0]このカタログの内容は、平成17年3月現在のものです。